

平成26年度 原町第二小学校 学校図書館支援活動記録



南相馬市立中央図書館
学校図書館支援員 今野 敦子

1 学校の概要

(1) 学校の紹介

本校は、東日本大震災と原発事故の影響により、県内外に約100名の児童が避難している状態である（平成26年4月1日時点）。

一方、昨年度に比べ13名の児童増となり、1年・4年・特別支援学級が各2クラス、他の学年が各1クラスの計10クラスの構成となる。

また、PTAボランティアの方1名が、昼休みに読み聞かせを行っている。

図書室は3階にあり、1～9類の図書が置かれている第一図書室と、読み聞かせスペースと調べ学習用スペースが書架で区切られている第二図書室があり、隣接している。

学校図書館支援員の派遣は、2年目となる。

平成26年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
32名	16名	31名	36名	28名	34名	177名

(平成26年5月末時点)

学校派遣日数 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 今村はるみ教諭

学校図書館蔵書数（4月当初） 15,389冊

学校図書館受入冊数（3月末時点） 785冊

うち 市費購入冊数及び金額 186冊（280,043円）

寄贈資料点数 293点

2 本年度の課題

・多読から熟読へ

昨年度は、借りた図書の冊数を競う傾向にあった。今年度は、お気に入りの図書に何冊出合えたかを大切にするように、多読よりも熟読を薦めていくようにする。

・高学年の読書離れへの対策

高学年の貸出冊数が増えるように、高学年向けのイベントを企画するなど読書に繋がる取り組みを考える。

3 活動の方針

担当の先生と話し合った結果、貸出は、全学級ごとにオリエンテーションを行ってから開始する（貸出開始：2～6年は4月から、1年は5月末）。

読み聞かせは、支援員が来校する（月）～（水）で、先生が授業で必要なときに実施する。

除籍作業については、昭和発行の図書など古いものを中心に行い、内容的に判断が難しいものに関しては、図書担当教諭に確認をしていただいてから行う。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> 予算検討と管理の確認 担当教諭との打合せ オリエンテーション（2～6年） 除架・除籍作業 	【前期図書委員会】 <ul style="list-style-type: none"> 図書の貸出開始（2～6年） 図書の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の借用開始 第1回学校支援会議（4/17） 杉並文庫選書（4月～6/30）
5月	<ul style="list-style-type: none"> 企画コーナー「こどもの日」 企画コーナー「母の日」 オリエンテーション（1年） 除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> 1年図書の貸出開始（5月末） 図書の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回学校支援会議（5/15）
6月	<ul style="list-style-type: none"> 企画コーナー「梅雨」 課題図書の受入、コーナー設置 除架・除籍作業 	<ul style="list-style-type: none"> 前期読書まつり（6/2～6/30） 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回学校支援会議（6/19）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 児童参加型壁面飾り<七夕> 	<ul style="list-style-type: none"> 図書の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 杉並文庫選書児童担当チェック（7/1～8/15）

	・企画コーナー「夏本」 ・除架・除籍作業		・学校図書費購入図書選書（7/1～8/30）
8月	・除架・除籍作業	・図書の整理	・杉並文庫選書最終チェック、発注（8/1～9/30）
9月	・企画コーナー「秋本」 ・オリエンテーション（1年） ・除架・除籍作業	・図書の整理	・学校図書費購入図書選書児童担当チェック（9/1～9/30） ・学校図書費購入図書選書最終チェック、発注（9/30～10/30）
10月	・企画コーナー「ハロウィン」 ・杉並文庫の受入 ・除架・除籍作業	【後期図書委員会】 ・後期読書まつり（10/22～11/21）	・杉並文庫納品開始（10月から） ・第4回学校支援会議（10/16） ・小・中学校図書館見学会
11月	・企画コーナー「学習発表会」 ・除架・除籍作業	・図書の整理	・学校図書費購入図書納品開始（11月中）
12月	・企画コーナー「クリスマス」 ・児童参加型壁面飾り ＜クリスマス＞ ・クリスマスプレゼント ・除架・除籍作業	・図書の整理	・第5回学校支援会議（12/18）
1月	・企画コーナー「お正月」 ・お正月プレゼント ・除架・除籍作業	・図書の整理	
2月	・企画コーナー「節分」 ・企画コーナー「バレンタインデー」 ・除架・除籍作業	・読書郵便 ・図書の整理	
3月	・企画コーナー「ひなまつり」 ・卒業生へのプレゼント ・除架・除籍作業	・3/9で閉館	

4 本年度の主な活動内容

(1) 1年間の目標

- ・「1週間に1度は図書室にいこう」を達成する。
- ・年間児童1人当たり20冊以上の貸出を目指す。
- ・「楽しい」図書室から「楽しんで学べる」図書室へ

(2) 1年間の活動記録

4月

① 第二図書室黒板掲示「ご入学おめでとう」

桜や蝶々、てんとう虫などの切り絵を散りばめて、春らしい印象を与え、はりねずみの足元には、画用紙でつくったランドセルを飾り、祝入学をイメージさせ、新入生を迎える飾り付けとした。(写真1)



写真1

壁面飾りは、裏にマグネットシートを貼り、取り外しを可能にしている。ランドセルは、開けることができ、児童から人気があった。

② 「分類カード」と「分類表」の掲示

第二図書室の壁面に、日本十進分類法に基づいた図書の「分類カード」を掲示し(写真2)、合わせて第一図書室の各書架付近には、「分類表」を設置し、分類について知ってもらうように工夫した。(写真3, 4)



写真2

図書担当教員の「本はこころの栄養です」の言葉を活かし、分類カードは「野菜」で表現した。

写真3

もともとも使用されていた分類ラベルと色を合わせることで、児童が理解しやすいように心がけた。図書館オリエンテーションでの説明の際、活かすことができた。



③ 本日の貸出冊数が分かるクラス別「読書の木」の設置

【ねらい】児童が楽しみながら図書を借りることができるようにする。

- ・カウンター側面にクラス別の「木」を設置し、図書を借りた児童は1冊につき1個、自分の学年の「フルーツカード」を貼ることとした。
- ・図書委員もしくは図書館支援員が、1位・2位・3位のクラスに金・銀・銅の王冠を付けた。

【工夫した点】

学年ごとにフルーツの種類を決めることで、児童に分かり易くするとともに、カウンター周りを明るく楽しい印象になるよう工夫した。王冠を付ける行為で、毎回ワクワク感を演出した。(写真4)

写真4

王冠がついた瞬間、1位になったクラスの児童からは「やったー」と歓声が上がることがあった。児童はこの読書の木を楽しんでいるようであった。



④ 新聞の受入開始、新聞棚の設置

以前から購入している「毎日小学生新聞」と寄贈を受けている「朝日小学生新聞」(土曜日発行人分のみ)に加え、新たに「読売子ども新聞」「朝日新聞」の2紙の受入を開始した。(写真5, 6)

※「読売子ども新聞」は、雑誌架の一番下に配架した。



写真5

朝日新聞・朝日小学生新聞・毎日小学生新聞の保存棚。一番上に今月分を配架した。



写真6

本日の新聞は、新聞ラックにはさんだ。

⑤ 図書館オリエンテーションの実施

- ・国語科「図書館へ行こう」との関連。
- ・昼休みや授業の時間を使って、全学年クラスごとに(特別支援学級は含まず)、図書の分類の説明、図書の新しい借り方、今年度初受入の新聞と雑誌の紹介、絵本の読み聞かせを行った。
※図書の分類の説明では、黒板にイラストをランダムに貼り、それを児童数人に同じグループに分けて貼ってもらい、分類とは何かを体験してもらった。貼る児童もそれを見ている児童も楽しそうだった。

⑥ 読み聞かせの実施(1年)

担任の先生から依頼を受け、授業時間を使って、読み聞かせを行った。

【内容】「ディズニー」(手遊び)

「だるまさんが」(絵本)
「おたすけてんぐ」(仕掛け絵本)

⑦ 読書のめあて

- ・校章にも使われている「桃の花」のカードに、1年間の読書のめあてを書き、第一図書室前廊下掲示板に学年別に貼った。
- ・3月には、このめあてに対する反省カードを書き、めあてカードと一緒にファイルに綴じることで、1年間の貸出を振り返り、次年度への目標へとつなげる。
- ・寄贈本の受入

5月

① 雑誌の受入開始

昨年度、先生方からのリクエストをまとめた結果、おりがみ・子どもの科学・こどものとも・ジュニアエラ・ナンバー・Newtonの計6種の購入となった。(写真5)

今年度は、貸出をせずに図書室に来て自由に読んでもらうスタイルをとったが、あまり利用されていないことがわかり、11月からは廊下に最新号コーナーを設け、雑誌の存在を多く知ってもらうようにした。(写真6)

※4年社会科で「外国の文化」についての本の借用を依頼された際、毎月海外の子どもの生活を掲載している雑誌「ジュニアエラ」の存在を伝え、本と合わせて提供し、活用の機会を増やすように努めた。



写真5
最新号は、イーゼルを使用し表紙を見せて、配架した。

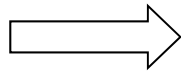


写真6
最新号コーナーを設置し、廊下を通る児童へアピールした。

② 中央図書館施設利用

3年生が「まちたんけん」の中間地点(休憩地点)として図書館を利用した際、天空のテラスを案内した。

③ 企画コーナー「母の日」

おかあさんが出てくる絵本等を展示した。

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入

6～7月

① 課題図書 of 受入・紹介

図書室には配架せずに直接各学年に提供し、1階生活科室前廊下の掲示板に課題図書の紹介を掲示した。(写真8)



写真8

掲示板ごとに、低・中・高学年の部に分けて紹介した。こちらは、低学年の部の紹介。表紙のコピーと帯に掲載されたコメントを貼り、切り絵を飾った。

② 第二図書室の窓に飾り付け <くじらの中にピノキオ> (写真9)



写真9

読み聞かせを行う部屋でもあるので、ものがたりに関連した飾りで、自然におはなしの世界に入っていけるようにした。

③ 「ぼくのわたしのおすすめ本」コーナーの設置

【ねらい】読書の感想をまとめて、発表することができるようにする。

- ・2年生が授業で、読んだ図書の紹介文を数回書いていたため、その中から特におすすめの本を紹介カードに書いてもらい、おすすめ本とともに展示（写真10）。
- ・借りられる本のおすすめカードは、はずして黒板に貼っていた（写真11）。

【工夫した点】

「おすすめ本カード」は、人物のイラストが選べる全24種類（男子12種類・女子12種類）とし、自分に近いものを選ぶことができる。画用紙に貼り、ラミネート加工をすることで丈夫にした。



写真10

「ぼくのわたしのおすすめ本」にちなみ、切り絵で作った男の子と女の子を飾り、ミニ看板には、学年を表示した。特に、1年生がよく借りに来る人気のコーナーになった。

写真11

2年生は、自分がすすめた図書が借りられているか気になるようで、よくチェックしていた。



④ 児童参加型壁面飾り <星にねがいごとを書こう>

【ねらい】壁面飾りに児童を参加させることで、「みんなの図書館」という意識を高めることができるようにする。

- ・昼休みに来館した児童に「星型カード」に願い事を書いてもらい、それを第二図書室の黒板に貼り、天の川を作った。（写真12）



写真12

みんなの願いをのせた天の川が完成。フィルムコートをし、裏にマグネットを付けることで、丈夫で自由に移動ができる星型カードになった。

- ・七夕当日はカウンターに笹を設置し、ひもをつけた「星型カード」を飾り、願い事を書いた児童が来館する度、そのカードをプレゼントした。（写真13）

写真13

笹は中央図書館サポート職員からの提供。笹の登場で、七夕の気分が大変盛り上がった。



⑤ 読書まつりクラス別貸出冊数の掲示

6/2～6/30まで行われた「読書まつり」の貸出冊数を発表するため、第二図書室廊下の掲示板に、クラス別の木を設置し、そこに借りた図書の数の分、花を貼った。(写真14)

写真14

花で隠れ文字を作ったので、見つけた児童は、にっこりしていた。



⑥ 企画コーナー「夏本あつめました」と「野馬追い」

第一図書室前廊下に2つある書架のうち、1つにはすいかや海などの「夏を感じる」絵本やものがたりを、もう1つには「馬」や「殿様」が出てくる絵本や野馬追いのパンフレットを展示した。

⑦ 9類「文学」のコーナーを分かり易くする工夫

・「ものがたり」の見出し

著者名の五十音ごとに色別で見出し板を作成し、書架側面にも同じものを貼り、繋がりを持たせた。(写真15)

・文学小プレート

書架側面に「むかしばなし」「短歌・俳句・詩」「ノンフィクション」「平和について考える」(戦争の本)等の小プレートを貼った。(写真15)

写真15

ものがたりの見出しとむかしばなし・短歌等の小プレート。



・「ものがたり」のジャンル分けの家

「ものがたり」をファンタジー・推理小説・SF・少女小説・こわいはなしの5ジャンルに分けて配架。お菓子の家をイメージした小看板に、ジャンルカードを貼って、確認してもらうコーナーも設けた。(写真16)

写真16

クッキーのカードに「ものがたり」のジャンルを表記し、楽しい雰囲気が出せるようにした。



⑧ 「としよしつ行き」バス

動物たちを乗せた「としよしつ行き」のバス。校内のいろんな場所に出発させることで、「としよしつに行こう」というアピール活動を展開した。動物たちは取り外し可能なので、図書室内の黒板に貼り、「先に図書室に着いてみんなを待っている」という演出を行うこともあった。(写真17)

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入

写真17

今回は、お知らせコーナーに停車中。



8月

① 杉並文庫の受入、コーナー作り

- ・昨年度は、杉並区の著名人に関連した図書(杉並区からの依頼)と9類・絵本(市立図書館の意向)という選書を行ったが、今年度は、先生方のリクエストを参考にしながら蔵書状況を考えて、0～8類、絵本をバランス良く購入した。195冊を受入。(写真18)
- ・杉並区から寄贈本があり、杉並文庫として11月にアンネ・フランクの本を2冊受入。
- ・昨年度受入分について、杉並ゆかりの作家等のものには、金丸シールを貼って棚に残し、それ

以外のものは、それぞれの分類の書架に配架した。(写真19)

- ・杉並ゆかりの作家が分かるように、折紙で作ったリンゴにテプラで人物名を貼り、画用紙で作った木に貼って紹介した。(写真20)
- ・今年度受入分には、ピンク丸シールを貼り、昨年度分と区別できるようにした。



写真18

右側には知識の本、左側には物語や絵本の文学の本を配架した。



写真19

杉並文庫シールの上に金丸シールを貼った。



写真20

杉並区ゆかりの12人

② 新聞記事紹介コーナー <気になる記事を見つけたよ>

月曜日に先週の木曜日からの新聞をチェックし、気になる記事が載っている面を貼り、記事に関連する図書がある場合は、傍に置くようにした。(写真21)

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入

9月

① 本選びのお助け箱、おたすけなみすけ&おたすけナミー

【ねらい】杉並区について知り、杉並文庫を読むことで、杉並区への感謝の気持ちを持たせる。

表側に杉並文庫の書名と著者名、裏側に杉並区の公式キャラクターなみすけとナミーの好物(りんごといちご)を基にしたラッキーアイテムを載せた「おたすけカード」を箱に入れ、何を読んで良いか分からない児童に引いてもらい、本選びの助けになるようにした。引いたカードの図書を借りる児童が多かったため、杉並文庫を読む機会を増やすことができた。(写真22)



写真22

「おたすけなみすけ」には知識の本、「おたすけナミー」には絵本や読み物などの文学の本を載せたカードを入れ、児童が喜ぶくじ引きの形をとった。

② ブックトーク(5年) <会津について知る>

宿泊活動に行く会津について知ることができるブックトークと読み聞かせの依頼があったため、クイズを交えながら、歴史的事実、有名人、名物料理の3つに観点を絞って行った。(写真23, 24)



写真23
ブックトークを聞く児童の様子。

写真24
黒板にイラストや写真を貼りながら、本を使って説明した。



③ 企画コーナー「お月見」

お月見の絵本とともに、お月見についての記事が載った新聞を展示した。

④ 杉並文庫の紹介 ～帯の活用～

- ・絵本等、装丁上、見返し（遊び）部分に貼ることができない帯を1階生活室前廊下の掲示板に、書名・著者名を載せたカードとともに掲示し、杉並文庫の一部として紹介した。(写真25)

写真25
児童から「下の掲示板にあった〇〇という本はありますか。」と、聞かれることが度々あった。



- ・寄贈を受けて2年目。いつまでも感謝の気持ちを忘れないでほしいとの思いから、合い言葉「広がるといいな、読書の輪そして感謝の輪」を掲示した。(写真26, 27)



写真26
合い言葉を掲示し、手作りのフラッグと子どもの顔の切り絵を添えた。

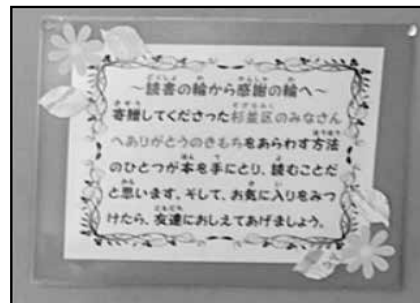


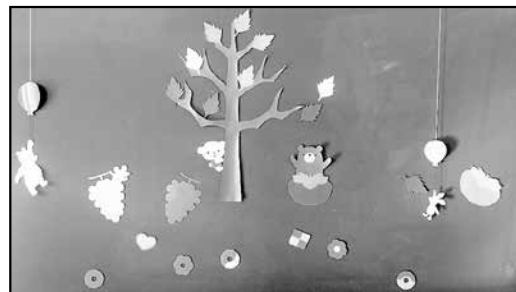
写真27
合い言葉の説明を合わせて掲示し、児童が意味を理解し易いようにした。

⑤ 季節の飾り <実りの秋>

第一図書室カウンター後ろの黒板を使って、紅葉する木の周りに柿やぶどうの切り絵を貼り、実りの秋をイメージさせる壁面飾りにした。(写真28)

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入
- ・図書を除架・除籍

写真28
マグネット式にしたので、児童が自由に移動させて楽しんでいた。



10月

① 季節の飾り <ハロウィン>

- ・第一図書室の窓に、かぼちゃやおぼけ、魔女の帽子などを組み合わせた切り絵を貼って、ハロウィン気分が盛り上げるようにした。(写真29, 30)
- ・3階の階段を上がってすぐのところに、ハロウィン特集を知らせる掲示をすることで、図書室

に来てもらえるようにした。(写真31)



写真29

切り絵その1



写真30

切り絵
その2



写真31

くもの裏には
マグネットをつ
け、時々移動させ
て、児童をびっく
りさせた。

② 企画コーナー「ハロウィン」

魔女やおばけが出てくる絵本等を展示した。

③ 勝手にタイアップ ～学校の授業や行事に合わせて特集を組むこと～

本校は今年度道徳の研究校となり、そのテーマは「きずな」である。その研究授業に合わせて「きずなが感じられる」図書を展示。看板にも温かみが感じられるよう画用紙できずなをイメージして作った。

(写真32)

このコーナーを作ったことを図書担当教諭に伝えると、昼休みに「きずなが感じられる」図書の読み聞かせを行ってほしいとの依頼を受けた。

写真32

家族とのきずな、友人とのきずな等、いろいろな形のきずなの図書を展示した。



④ 勝手にタイアップ <学習発表会>

各学年の演目に関連した図書を展示した。

⑤ 自校予算購入図書の選書・受入 207冊

古くなっていた伝記、4類、工作の本を除籍し、その分を補充する形で選書した。先生と児童からのリクエストの本も入れた。

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入
- ・図書の除架・除籍

11月

① 「ぼくのわたしのおすすめ本」コーナー <第2弾>

後期図書委員におすすめ本の紹介カードを書いてもらい、本と一緒に展示した。

② 外国の昔話の切り絵の掲示

第二図書室の壁に「ブレーメンの音楽隊」、「みにくいあひるの子」、「あかずきん」の切り絵を掲示した。(表紙写真)

③ 折り紙展示コーナーの設置

文庫本用の書架に、季節の折り紙を飾った。(表紙写真)

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入
- ・図書の除架・除籍

写真33

児童たちは、自分や友だちのツリーを見に来て、楽しそうだった。

12月

① 児童参加型壁面飾り <クリスマスツリー>

>

【ねらい】壁面飾りに児童を参加させることで、「みんなの図書館」という意識を高めることができるようにする。



- ・昼休み来館した児童に、折紙で作った「ツリー」に絵を描いてもらい、裏にマグネットシートを貼って、第二図書室の黒板に貼り合わせ、大きなクリスマスツリーを作った。(写真33)
- ・二学期終了直前、各ツリーに星やリボンの飾りを付けて、絵を描いた児童にプレゼントした。



写真34

クリスマスツリーに飾るだけでなく、壁に飾ったり、ひもを活かして本のしおりにしたり、活用の仕方は児童に任せました。

② クリスマスプレゼントの提供

【ねらい】来館意欲を高めることができるようにする。

図書を借りた児童に、切り絵で作ったサンタクロース・ツリー・くつ下のクリスマスオーナメントをプレゼントした。(写真34)

③ 代本板をリメイク、面出し用ブックスタンドとミニ本立て

用務員さんに依頼し、以前使用していた代本板から、表紙を飾ることができるブックスタンド(白7個、赤5個、青8個、黄5個の計25個)とミニ本立て(仕切りあり2個、仕切りなし6個の計8個)を作っていたいただいた。(写真35、36)



写真35

図書室の隅に置いたままになっていた代本板。

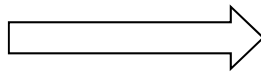


写真36

角を丸くして組み合わせ、ペンキを塗ったら、大変身。

- ・新聞の受入
- ・雑誌の受入
- ・寄贈本の受入
- ・図書の除架・除籍

1月

① としょかん☆分類お守り

【ねらい】楽しみながら分類の知識を身につけることができるようにする。

図書の分類と学校の教科を合わせたミニブック入りのお守りを、本を借りた児童に1つプレゼントした。折り紙で50個作成。48個追加作成。(写真35)



写真35

児童にはその場で開いてもらい、説明ボードを見せながら、結果を伝える。○類にはどんな本があるのかという説明も加えた。

例えば「7類芸術」のミニブックが入っていたら、今年「『図工・音楽・体育』の成績がアップするかも」というように、分類と教科を結びつけ、楽しみながら分類についても学べるようにした。数量限定で、「全教科成績アップ」のマルチブックを入れ、喜びを高めることができた。

② 壁面飾り <おせち料理>

第二図書室前掲示板に、おせち料理の切り絵とお品書きを貼り、お正月の雰囲気を出した。

2月～3月

① 図書委員の企画による「読書郵便」

【ねらい】おすすめの本を友達に紹介することができるようにする。

- ・友達に自分のお気に入りの本を紹介する手紙を出し、手紙をもらった児童は、返事として自分のお気に入りの本を紹介する手紙を出すというルール。今年度は、絵を描く

スペースを追加した。

- ・ 1階と2階に郵便ポストを設置し、月曜日に回収し、水曜日に配達した。
- ・ 1年生が6年生におすすめの本を紹介するなど、学年を越えての交流ができたこともよかった点である。

② 杉並区立図書館より出版社童話屋からの寄贈本の受入 33冊

詩の本が多かったため、第一図書室前廊下に「詩をよもう」コーナーを設けて、展示した。第二図書室前廊下掲示板には、リストを掲示し知らせた。

③ 企画展示コーナー「追悼 松谷みよ子」

2月28日に亡くなった作家松谷みよ子の追悼企画として、第一図書室前廊下の面出し書架に、作家の紹介と物語や昔話絵本の展示を行った。

④ 卒業読書

「読書をしよう」と呼びかけをし、読書貯金の用紙の色を変えた。

⑤ 読書賞の表彰

- ・ 1年間の貸出冊数の上位2～3名に読書賞を親展した。
- ・ 1～5年は放送で発表し、6年は全校集会の際に表彰した。

⑥ 6年生へ卒業記念のしおりのプレゼント

- ・ 「ムーミン谷の夏まつり」のスナフキンの言葉を掲載して卒業生への贈る言葉とし、片面には学校名と卒業の日を明記して記念となるようにした。(写真36)

・ 図書室で言葉の意味を説明した後、児童一人一人と担任の先生に「卒業おめでとうございます」の言葉とともに手渡し、とても喜ばれた。



写真36

新しい世界へ飛び立つ児童をイメージして、鳥と旅行鞆の切り絵を貼った。

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・ 杉並文庫の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理
- ・ 市図書費の選書アドバイス（本の分類確認）および発注処理

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

	1年②	2年	3年	4年②	5年	6年	月合計	一人当たり
4月	—	16	4	19	32	11	82	0.56
5月	140	102	57	198	88	53	602	3.40
6月	333	42	31	185	66	66	723	4.08
7月	161	49	99	141	86	89	625	3.53
8月	20	0	9	19	1	1	50	0.28
9月	213	78	11	141	7	25	475	2.68
10月	235	84	25	173	58	34	609	3.44
11月	162	45	3	142	44	15	411	2.32
12月	198	77	94	190	60	96	715	4.03
1月	138	20	66	121	11	12	368	2.07
2月	256	29	22	132	8	30	477	2.69
3月	165	4	6	58	2	6	241	1.36
学年合計	2021	546	427	1519	463	438	5414	30.58

※1 1人2冊1週間の貸出。

※2 夏休み・冬休み用貸出は1人3冊まで可。

※3 1年は5月23日より貸出開始。

② 学級文庫貸出冊数

	1年②	2年	3年	4年②	5年	6年	支援学級②	月合計	1クラス当たり
4月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5月	0	24	0	0	0	46	0	70	7.77
6月	31	64	0	1	1	0	2	99	11
7月	0	41	61	0	0	0	0	102	11.33
8月	0	0	0	0	0	0	1	1	0.11
9月	0	32	230	0	0	0	1	263	29.22
10月	25	0	0	0	0	45	0	70	7.77
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	52	0	0	0	0	52	5.77
1月	0	32	90	0	0	0	0	122	13.55
2月	0	50	99	0	0	0	0	149	16.55
3月	0	0	148	0	0	0	0	148	16.55
学年合計	56	243	680	1	1	91	4	1076	119.5

※1 支援学級は2クラスあるが1つの教室で学んでいる実態から、1クラスで計算した。

※2 これとは別に国語の教科書掲載図書の固定学級文庫がある。

固定学級文庫冊数

2年	3年	4年	5年	6年
60冊	81冊	82冊	79冊	70冊

③ 調べ学習等貸出冊数

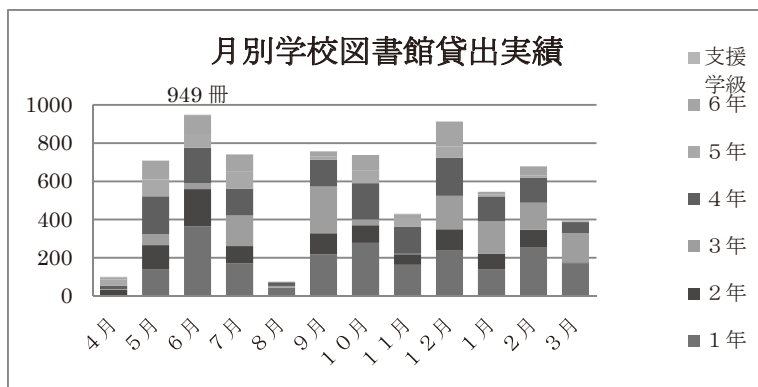
	1年②	2年	3年	4年②	5年	6年	支援学級②	月合計	1学年当たり
4月	—	15	—	—	—	—	3	18	3
5月	0	0	0	1	0	0	0	1	0.16
6月	0	89	0	0	5	33	0	127	21.1
7月	10	0	0	0	2	0	3	15	2.5
8月	23	0	0	0	0	1	0	24	4
9月	4	1	4	0	10	0	1	20	3.33
10月	18	8	6	16	10	1	0	59	9.83
11月	1	10	0	0	1	5	2	19	3.16
12月	42	32	29	9	0	33	2	147	24.5
1月	2	28	14	10	0	1	0	55	9.16
2月	0	11	21	0	2	18	0	52	8.66
3月	6	0	0	0	0	0	1	7	1.16
学年合計	106	194	74	36	30	92	12	544	90.66

※1 調べ学習での資料の活用は、借りるよりも直接来館し閲覧することの方が多いとの声を生方からいただいた。

※2 中央図書館からの借用の多いことから、学校図書館からの貸出冊数は少ないが、図書を活用した学習活動は盛んに行われているといえる。中央図書館からの借出冊数は、別紙3を参照。

(2) 学校図書館利用実績

個人貸出冊数、学級文庫貸出冊数、調べ学習等貸出冊数を足したもの。



7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- ・ 支援員同士で協力し合うとともに、中央図書館サポート職員と連携を取りながら、支援活動を行うことができた。①パソコンでの作成物、②工作物、③新しい情報等を提供し合うことで、お互い支援活動の内容を高めることができた。
- ・ 図書室以外の場所に、図書の紹介コーナーを設けたことは、図書室への誘導に効果があった。
- ・ 本選びのお助け箱「おたすけなみすけ」と「おたすけナミー」は、楽しみながら本選びができるとともに、支援員と児童との交流のきっかけにもなった。
- ・ 図書委員が「読書の木」による貸出冊数の集計結果を昼の放送で発表したことは、特に低学年の借りる意欲を高めた。

(2) 来年度に向けた課題

- ・ 学級文庫の借り方が分からないままのクラスがあったため、あまり借りに来ないクラスがある場合は、こちらから声かけし、借り方の確認が必要である。
- ・ 学級文庫と調べ学習等の正確な貸出冊数が出しにくいのが現状である。図書室から図書を持ち出す際は、用紙に冊数を記入することになっていたが、その記入の周知徹底がなされなかったため、改善策が必要である。
- ・ 返却の手続きをせず、貸出ファイルの返却日が未記入のまま、棚に戻している児童が多かったため、正しい返却の仕方を守るように指導していきたい。
- ・ 借りたままになっている児童が多かったため、定期的に図書委員に貸出ファイルのチェックをお願いするなどして返却の期限を守るように促し、図書室の本が多くの子供に利用してもらえるようにしたい。

別紙3 市立図書館からの借用冊数

	1年 (32名)	2年 (16名)	3年 (28名)	4年 (34名)	5年 (26名)	6年 (33名)	支援学級 (8名)	学校カード	月合計
4月	0	0	0	5	0	0	6	15	26
5月	0	0	0	8	0	0	0	38	46
6月	9	0	0	0	0	7	7	34	57
7月	0	0	0	0	0	5	7	15	27
8月	0	0	0	0	0	0	0	4	4
9月	0	18	5	0	0	0	16	9	48
10月	0	0	0	26	0	0	5	10	41
11月	0	0	0	0	0	27	22	10	59
12月	0	0	0	24	0	0	0	7	31
1月	10	0	0	3	12	0	0	5	30
2月	0	0	0	0	0	18	0	26	44
3月	0	0	0	0	0	0	0	6	6
学年合計	19	18	5	61	12	57	63	179	414

※1 児童と担任教員以外の教員からのリクエスト分は、学校カードで貸出。